

南アメリカ州の指導にあたって ～開発と環境を主題に

●『学習指導要領解説』の抜粋

世界の諸地域について、次の①～⑥の州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究・解決するなどの活動を行う。州ごとに設ける主題は、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象とし、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げること。

- ①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ
④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア

V. 南アメリカ州：＜主題例＞森林の伐採と開発、商品作物の栽培に関わる課題など南アメリカ州を大観する学習を踏まえて、例えば、ブラジルを対象に「ブラジルでは森林の耕地化が進んだ結果、どのような問題が生じているのか」、「なぜブラジルでは、コーヒーから大豆などへと栽培作物が変化しているのか」などといった問いを立て、前者の場合、森林と耕地面積の変化、農産物の生産、生物多様性などを地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察して、持続可能な開発に関わる一般的課題とブラジルにおける地域特有の課題とを捉える。

●指導上の留意点

アマゾン川流域には、700万km²におよぶ広大な熱帯雨林が広がっている。アマゾンの森林は8か国にまたがり、ブラジルの国土のおよそ40%を占めている。そのアマゾンの原生林が乱開発の影響で急速に消失している。アマゾンの森林は地球の生態系全体からみて貴重な存在であるとともに、アマゾンに暮らす先住民にとっては、伝統的な狩猟採集生活をするうえで必要不可欠なものである。

一方、BRICSの一員として経済発展が著しいブラジルにとっては、国内の経済発展と地域格差の解消のためには、アマゾン地方とともに、ブラジル高原の乾燥した地方の開発が避けられない。これらの事例を用いて、森林破壊の実態とその原因、持続可能な開発のあり方を考えたい。また、南アメリカ州を特徴づける多様な民族構成、モノカルチャー経済の現状、豊富な地下資源、バイオエタノールの生産などに関連した農業の変化、経済成長と人口問題など、南アメリカ州の現状と課題を多面的にあつかい、学習を深めたい。

●ワークシートの単元構成 <想定する時間数：全体で4時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
主題 .. 開発と環境	1 南アメリカ州をながめて	主な国々の名称と位置	多様な民族構成 南アメリカ州の課題	p.33
	2 南アメリカ州の経済と産業	南アメリカ州の産業の特徴 経済の歩みと現状	モノカルチャー経済と一次産品 経済をめぐる現状	p.34
	3 南アメリカ州にみる 地球的課題	アマゾン川流域の自然環境の 破壊	森林の減少と、それがおよぼす影響	p.35
	4 南アメリカ州のまとめ	大きくとらえた南アメリカ州 南アメリカ州の現状と課題	白地図上に主な地名や語句を整理する	p.36

南アメリカ州 ①

南アメリカ州を ながめて

●学習のねらい●

南アメリカ州にはどのような国があるだろうか。地図帳を使って、国ごとに異なる多様な民族構成や人々の暮らしについてみていこう。

南アメリカ州にはキリスト教徒（カトリック）が多く、ブラジルがポルトガル語圏である以外は、ほとんどがスペイン語圏です。かつてこの地域がスペイン、ポルトガルの植民地だったためですが、アジアやアフリカと違って、19世紀前半にはほとんどの国が独立を果たしました。それぞれの国は、先住民・白人・黒人など多様な人々によって構成されています。

南アメリカ州には、特定の鉱産資源や農産物などの一次製品の生産・輸出に依存したモノカルチャー経済に頼る国が多くみられます。これはかつて植民地支配されていた時代に認められていた大土地所有の名残で、作物栽培の適地の多くを大規模な農場が占め、傾斜地など条件の

悪い土地が小規模な農業を営む農民の所有となっています。一次製品の中でも欧米向けに輸出されるコーヒーやさとうきびなどは大農園で栽培され、こうした農園では土地を持たない農民が働いており、欧米の多国籍企業が経営しています。

南アメリカ州の中でも、ブラジルは工業化が進み、以前の農産物や輸出向けの鉱産資源に頼るモノカルチャー経済から抜け出して経済成長をとげ、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国とともにBRICSとよばれています。

南アメリカ各国の都市には、人口の急激な増加に対し、生活基盤の整備が追いつかないスラムとよばれる地域が形成され、深刻な社会問題となっています。

課題 1 次の南アメリカ州に関する文章がさす語句を答えよう。

- ① 南アメリカ大陸西部の太平洋岸を南北に貫く長大な山脈 ()
- ② ヨーロッパ系と先住民との混血の人々 ()
- ③ 南アメリカ大陸南部を流れるラプラタ川流域の草原地帯 ()
- ④ 多くの支流をもち、流域がブラジル以外の国々にも及ぶ大河川 ()

課題 2 次の表は、南アメリカ州の国々の民族構成と人口を表しています。これらを参考に、①～⑥の欄にあてはまる国名を下の□から選んで書いてみよう。

民族構成	総人口	国名
ヨーロッパ系 47.7%, ヨーロッパ系とアフリカ系の混血の人々 43.1%, アフリカ系 7.6%	2億 1,200 万人	①
ヨーロッパ系と先住民の混血の人々 60.2%, 先住民 25.8%, ヨーロッパ系 5.9%, アフリカ系 3.6%	3,190 万人	②
ヨーロッパ系と先住民の混血の人々 68.0%, 先住民 20.0%, ヨーロッパ系 5.0%	1,160 万人	③
「ヨーロッパ系の人々」・「先住民以外の人々」88.9%, 先住民 9.1%	1,820 万人	④
「ヨーロッパ系の人々」・「ヨーロッパ系と先住民の混血の人々」97.2%, 先住民 2.4%	4,550 万人	⑤
ヨーロッパ系と先住民の混血の人々 95.0%	720 万人	⑥

(『ワールドアルマナック 2021』より)

チリ	ボリビア	ブラジル	ペルー	パラグアイ	アルゼンチン
----	------	------	-----	-------	--------

課題 3 なぜ南アメリカ州にアフリカ系の人々が生活しているのか、その理由を調べてみよう。

南アメリカ州 ②

南アメリカ州の経済と産業

●学習のねらい●

南アメリカ州の多くの国は、特定の一次産品に依存するモノカルチャー経済である。モノカルチャー経済の現状と課題について考えよう。

20世紀初頭まで、南アメリカ州の国々は、欧米向けに輸出されるコーヒー、小麦、銅などに大きく依存したモノカルチャー経済が主流でした。しかし、1929年の世界恐慌以降、一次産品は価格の変動が激しく、そのうえ工業製品と比べて取引の条件も悪いことから、工業化が押し進められました。そのために国際通貨基金（IMF）などから多額の資金を借り入れましたが、輸出競争力が弱いために工業化が進まず、ブラジル、アルゼンチンなどは多額の借金（債務）をかかえることになりました。

しかし、経済のグローバル化が進んだ現在、豊かな一次産品やその加工品の輸出は、再び注目を浴びるようになってき

ました。例えば、輸出品をみると、コーヒーやさとうなどの伝統的な一次産品から、生鮮野菜、果物、花、食肉類、水産品などに広がっています。また、貿易相手国として中国の存在も大きくなってきています。

南アメリカ州では、植民地としての歴史の上に続いてきたコーヒーや綿花、小麦やだいずなど輸出用の農作物の栽培をはじめ、南部の温帯地域では牛の放牧などが現在も大規模に行われています。

近年では、さとうきびを利用したブラジルのバイオエタノール生産や、チリ、ボリビアなどの希少金属（レアメタル）の産出も注目を集めています。

課題 1 次の表は、南アメリカ州の国々の輸出総額に占める一次産品の割合を示したものです。これを見ながら、下の①～③の問いに答えよう。

(2018年現在 [* 2013年の数値])

国名	輸出総額 (億ドル)	上位9品目までの一次産品の割合 (%)	上位9品目に入る一次産品 (最大5品目)
アルゼンチン	616	43.9	植物性油かす, とうもろこし, だいず油, 野菜・果実, 小麦
ウルグアイ	75	70.5	肉類, 木材, 酪製品, だいず, 米
エクアドル	216	84.9	原油, 魚介類, 野菜・果実, 装飾用切花, カカオ豆
コロンビア	418	66.1	原油, 石炭, コーヒー豆, 装飾用切花, 金 (非貨幣用)
チリ	755	72.0	銅鉱, 銅, 野菜・果実, 魚介類, ワイン
パラグアイ	90	57.9	だいず, 肉類, 植物性油かす, だいず油, とうもろこし
ブラジル	2,399	41.5	だいず, 原油, 鉄鉱石, 肉類, 植物性油かす
ベネズエラ*	880	85.5	原油, 鉄鉱石, アルミニウム
ペルー	479	68.5	銅鉱, 金 (非貨幣用), 野菜・果実, 銅, 亜鉛鉱
ボリビア	91	86.3	天然ガス, 亜鉛鉱, 金 (非貨幣用), 植物性油かす, 銀鉱

(国連 Commodity Trade Statistics Database より作成)

① 一次産品の割合が高い順に、5か国の国名を書き出そう。

() () () () ()

② 上の表の「上位9品目に入る一次産品」で各国に共通する特徴をあげてみよう。

③ 上の表をみると、ブラジルでは輸出品の上位に機械類、自動車、鉄鋼が含まれている。このことと、一次産品の割合を結びつけてまとめてみよう。

課題 2 南アメリカ州の国々は、多額の累積債務に苦しんでいます。その原因を調べてみよう。

南アメリカ州 ③

南アメリカ州に みる地球的課題

●学習のねらい●

南アメリカ州にみられる、アマゾン川流域の熱帯林破壊の現状と課題について調べてみよう。

南アメリカ州が直面する地球的課題は、環境破壊や都市の人口増加などが挙げられます。なかでも特に環境破壊の問題として、アマゾンの熱帯林の減少が注目されています。アマゾン川流域に広がる熱帯林の面積は約550万km²で世界最大といわれています。

この地域では、15世紀以降、欧米向けにコーヒーなどの熱帯性の作物が栽培されてきましたが、19世紀後半からは天然ゴムや金・すず・銅・ボーキサイトなどの鉱産資源の開発が進み、多くの人々が移住してきました。そして第二次世界大戦後、ブラジルは国家計画としてアマゾン川流域の開発を決定しました。その

ためにアマゾン横断道路が建設され、流域への入植は加速していきました。大企業による木材資源や鉱産資源の開発はアマゾン横断道路に沿って進み、広大な熱帯林が伐採されていきました。地球全体の熱帯林の3分の1を占めるアマゾン川流域では、多様な生物が暮らす自然環境の破壊や、先住民の暮らしが脅かされるといった問題も生じています。熱帯林を切り開いた土地では、土地に含まれる養分は農業には不十分であったため、開発によって農民は必ずしも豊かになりませんでした。そのため、人々は都市を目ざすようになり、都市人口の増加といった課題がもたらされています。

課題 1 次の表は、1990年から2020年間の、南アメリカ州の国々における森林面積の推移を表しています。コロンビアを例に、空欄に数値を書き込んでみよう。また、下の①～③の問いに答えよう。

	面積 (万 ha)		面積増減 A - B = C (万 ha) (C)	変化率 C ÷ A (%)
	1990年 (A)	2020年 (B)		
コロンビア	6,496	5,914	- 582	- 9.0
ベネズエラ	5,203	4,623		
エクアドル	1,463	1,250		
ペルー	7,645	7,233		
ブラジル	58,890	49,662		
ボリビア	5,781	5,083		
パラグアイ	2,555	1,610		
チリ	1,525	1,821		
アルゼンチン	3,520	2,857		

*減少はマイナスで表示。(FAO Forestry statistics より)

- ① 森林面積が増加した国を挙げてみよう。
(国名)
- ② 森林消失の面積が最も広い国名と、その面積を答えよう。
(国名) (森林消失面積 万 ha)
- ③ 森林面積の減少率が最も大きい国はどこか答えよう。
(国名)

課題 2 多様な動植物の宝庫であるアマゾンの原生林を、できるだけ守りながら開発する(持続可能な開発)ためには、どうしたらよいのでしょうか。日本などの先進国が果たすべき役割とともに考えてみよう。

南アメリカ州 ④

南アメリカ州のまとめ

●学習のねらい●

地図帳を使って、白地図を用いた課題について語句や地名を記入し、南アメリカ州についてまとめよう。

南アメリカ州の特徴を大まかに振り返っていきましょう。自然環境については、アマゾン川流域にはセルバとよばれる熱帯林が広がり、ラプラタ川流域にはパンパとよばれる草原地帯が広がっています。太平洋岸を南北に貫くアンデス山脈の高地は、冷涼な気候の地域となっており、高山都市もみられます。歴史・民族構成については、15世紀末にコロンブスが西インド諸島に到着するまでは先住民が生活していましたが、16世紀以降、スペイン人やポルトガル人が進入・支配を開始し、この地域は植民地となりました。その後、アフリカから労働力としてアフリカ系の人々が、さらにアジアなどからの移民も続いたことから、南アメリカ

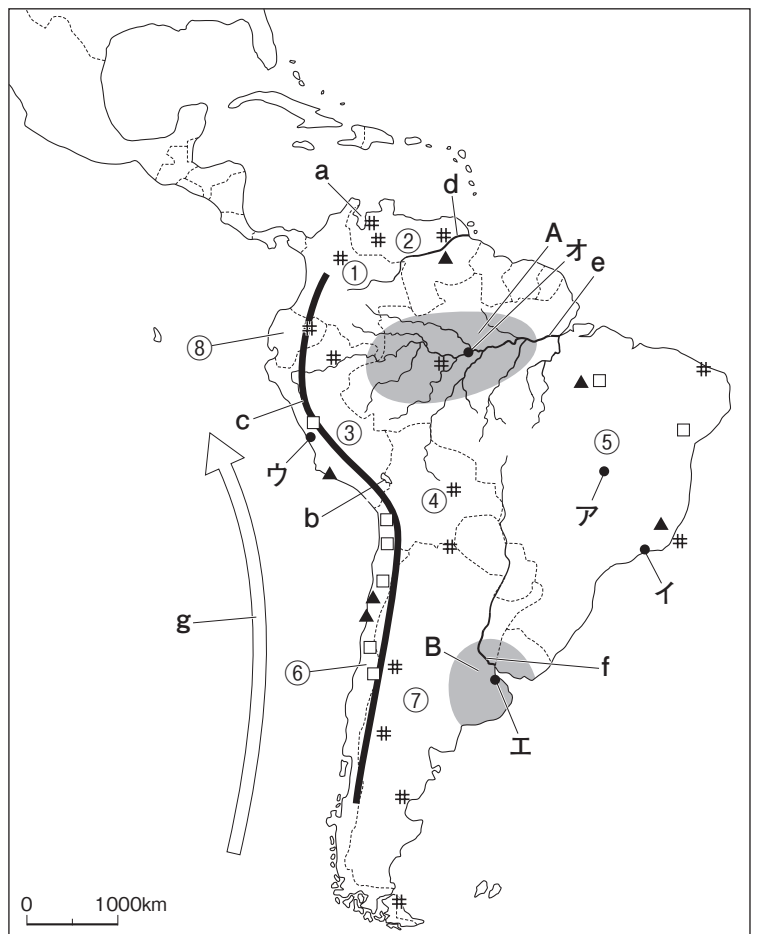
州各国の民族構成は多様なものとなっていきました。その中には日本からの移民（日系人）も含まれ、現在ではその子孫で労働者として来日する人々も多くみられます。農業については、植民地時代に持ち込まれた大土地所有制の名残から、輸出のための食料用・燃料用の農産物を生産する大農園が存在する一方で、パンパでは大規模な放牧も行われています。経済面では、こうした農畜産物や豊富な鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済からの脱却が問題となっています。地域的な課題としては、アマゾン川流域の森林面積の減少などの環境破壊の抑制、人口増加とその都市集中などがあり、解決が急がれる課題となっています。

課題 1 下の地図の①～⑩には国名、ア～エには都市名、a～fにはあてはまる適切な語句、AとBには特徴的な植物の広がり（植生）がみられる地域の名前を記入しよう。

課題 2 下の地図に記号で示された鉱産資源はそれぞれ何か、凡例中の（ ）に記入しよう。

課題 3 下の地図に、北回帰線と南回帰線を青色、赤道を赤色で記入しよう。

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
ア	イ
ウ	エ
オ	a 湖
b 湖	c 山脈
d 川	e 川
f 川	g 海流
A	B



【凡例】

() ▲ () □ ()